

は
が

「お氣をつけて」声をかけながら、手渡しました

7月15日(水)、JAハリマ波賀営業部前で、ボランティアグループ上野しあわせ会のメンバーが、「小鳥のマスコット」をドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。

これは夏の交通事故防止運動の一環として安積交通安全協会が波賀と一宮で行ったもので、上野しあわせ会は平成11年から毎年マスコットを300個作り、運動に参加しています。

「今年は何を作ろうか、毎年考えるのが大変」と代表の瀧元善子さんはこやかに話されます。

手づくりの品で幸せを届けたい

上野しあわせ会が交通安全を呼びかけ



「年をとると、何事にも時間がかかるようになりました」現在は敬老の日に上野地区の80歳以上の方に贈るプレゼントを作っています

昭和55年、当時の上野婦人会役員16名で結成されたグループですが、現在は5名で活動しています。

「手づくりの品で幸せを届けたい」と、毎日のように瀧元さん宅に集まって、敬老の日や国際交流のためのプレゼントなども作っています。

「自分たちにできることで、社会に灯りをともしたい」という気持ちを大切に、いつまでも活動が続くことを願っています。

(波賀支部 前野瑞恵)



かわい「小鳥のマスコット」

ち
くさ

ちくさ高原で釣り三昧!

青い鳥学級開級式



ありがとう、ヨーク

7月3日(金)、梅雨の晴れ間に恵まれ、ちくさ高原釣りセンターにて青い鳥学級(視覚に障がいのある方対象)の第一回講座「ちくさ高原釣り大会」が行われました。

学級生11名と盲導犬2頭、サポーター4名が参加し、仕掛け作りから教わりました。それぞれの場所での釣り糸をたれ、餌にかかる魚を待ちました。

見えなくても手ごたえで、竿を引くタイミングがわかります。

「5匹釣ったで」「大満足や」「相棒がええからね」とサポーターを労う言葉も。

釣ったアマゴの塩焼きに舌鼓を打ったあとは、千種せんべいを頬張り「千種の民話」や野鳥のさえずりの録音を楽しみました。

また、引退を控えた盲導犬



釣れるかな?



えさは「いくら」です



釣れた!



焼けたかな?

「ヨーク」のお別れ会もあり、共に過ごした8年半の思い出を高岸さんから聞きました。

信頼と支え合いのすばらしさにふれあうことができた一日でした。

(千種支部 小原志のぶ)